

そう だい かい
総 題 「神のためにたくさんの友人をつくる」

だいじゅうさん か しんこう いっぽ
第 1 3 課 信仰による一歩

たけだ まさや
武田 将弥

あんそくにちごご
1. 安息日午後

せいしよ はなし ものがたり さま わたし す ちじょう にんげん
聖書のお話にクリスマスの物語があります。イエス様が、私たちの住んでいる地上に、人間となっ
て生まれてきてくださったという、とても有名なお話です。しかしこのクリスマスのお話の意味や、イエ
ス様の立場になって考えてみると色々なことが分かってきます。まずイエス様のおられる場所は「天国」
ですから、宇宙で一番素晴らしいところです。しかし人間たちが住むこの地上は、罪の影響で喜び
と悲しみが入り混じった、混乱した世界です。神様の目から見ると、※2そんな世界に住む人間は不幸だし、
神様のおられる天国よりも、この混乱した地上を愛してしまっている人間たちを、どうにかして（ど
うやって）救い出そうかとお考えになったのです。そこでイエス様は、※3ご自分の国を離れて、困っている
人や悲しんでいる人間たちを救うため、悪魔や悪い人がウヨウヨしている危険なこの地上へ来て下さ
ったのです。

みな さま ひと すく じぶん ふこう かま けっしん じぶん あい
皆さんはイエス様のように、人を救うためなら自分が不幸になっても構わないと決心して、自分の愛す
る家族や全財産すべてを置いて、恐ろしい世界に何も持たずに飛び込むことはできますか？ おそらく誰
も出来ないですし、やりたくないと思います。でも神様（イエス様）は、地球に生まれるなら※4ひどい目に
合うことを知っていましたが、私たちが心の底から愛しておられるので、この世界に生まれて来て下さ
ったのです！ だからイエス様の苦勞を考えると、少くも神様（イエス様）のために何か恩返しを
しなくては申し訳ないな…と感じてくると思います。

かみさま ねが とき いかん とき
神様からのお願いは時として「嫌だなあ、やりたくないなあ」と感じる時があるかもしれませんが、そ
ういう時はイエス様を思い出して下さい。きっとあなたの心にヤル気と勇気が湧いてくると思います。

ちじょう ちきゅう
※1地上（地球）

せかい ちきゅう
※2そんな世界（地球）

じぶん くに てんごく
※3ご自分の国（天国）

め あ くる おも
※4ひどい目に合う（苦しい思いをする）

2. 日曜日：自己犠牲の愛

イエスは神の子であり、全宇宙の支配者です。しかし人間を救うために神様のままの姿ではなく、私たちと同じ人間の姿で生まれて来てくださいました。もしもイエス様が神様の姿のままこの地上に生まれて来られたとしたら、我々人類は罪のせいで神様とともに(きちんと)向き合うことが出来ません。太陽に近づきすぎると死んでしまうのと同じで、神様があまりにも聖なる存在すぎて、罪に汚れた私たちは死んでしまうのです。もし死ななかったとしても、恐ろしさで逃げ出していると思いますし、話しかけられても恐怖心で神様の言葉はぜんぜん頭と心に入っていないでしょう。だからイエス様は私たちのところまで降りてきて(※1地上に生まれて)下さったのです。これは完全な自己犠牲の愛です。人間として生まれるだけでも有り得ないほどの犠牲なのに、私たちへの愛と救いを表すために、屈辱(恥をかかせること)と拷問(苦しみをあたえること)の死刑方法である「十字架」にかかって、私たちの代わりに死んで下さったのです。イエス様は凄まじい苦勞と犠牲を払いましたが、その代わりとして多くの人々の魂を救いました。

3. 月曜日：献身の召し

1 2 弟子のうち、ペテロやヨハネ、取税人のマタイがいます。

ペテロやヨハネはガリラヤ湖で魚を捕っている時に、そして取税人のマタイも同じように仕事をしていたら、ある日突然イエス様と出会って声を掛けられました。※5この人たちはイエス様と出会う前に噂を聞いていましたが、まさか自分にイエス様が話しかけてくるとは想像していませんでした。なぜなら「自分みたいな人間は神様の目に留まることは無いだろうな」と、自分で自分自身のことを※6大したことのない存在だと思っていたからです。しかし神様の目には人間は宝物に見えていました。だからイエス様から「私と一緒に来ませんか?」と言われたとき、自分なんか神様に必要とされているのだという事実を知り、※7凄まじい感動と感謝に包まれました。だからペテロやヨハネや取税人のマタイは何もかも捨ててイエス様に従ったのです。

※5この人(ペテロやヨハネや取税人のマタイ)

※6大したことのない(大切にない)

※7凄まじい(大きな)

4. 火曜日：パウロ—神に選ばれた器

若い時のパウロは、イエス様を信じる者たちを※8迫害する(追詰めて苦しめる)ことに熱心な人間でした。

それが正しいかと思っていたからです。しかし真実に気がついて悔い改めた後、※9物凄い (熱心な) 伝道者に生まれ変わり変わりました。他にも取税人、遊女、悪霊に取り憑かれた人など、※10神様のことを伝えるにはあまりふさわしくなさそうな人たちが、器として選ばれている事に※11注目して (注意して見てください)。むしろ欠点の多かった人たちのほうが、神様に救われた感謝の印として、伝道活動を頑張ったという事実があるのです。この人たちは喜びと感謝のパワーで伝道を頑張ったのですが、それだけ (とても) 嬉しかったということです。爆発するような喜びと感謝の気持ちは、誰にも止められないものなのです。

※8迫害する (追い詰めて苦しめる)

※9物凄い (熱心な)

※10神様のことを伝えるにはあまりふさわしくなさそうな (神様のことを伝えることをしないような)

※11注目して (注意して見て)

5. 水曜日：愛の要求

十字架でイエス様が亡くなる前に、ペテロは3回「主を知らない」と言ってイエス様を裏切りましたが、死から復活した後のイエス様から「私を愛しているか？」と3回、言い直すチャンスを与えられました。その時にイエス様は「私の羊を飼いなさい」とペテロに役目 (奉仕) を与えられました。これはイエス様との関係が終わってしまったのではなく、まだ続いているという祝福の印でもありました。

神様から何かお願いされることを大変に感じるかもしれませんが、逆に神様に「もういいです、あなたにはもう何も頼みません。」と言われることを想像してみてください。悲しい気持ちになってゾッとしますか？ 実は神様に何かお手伝いを頼まれるということは、必要とされているということなので喜ばしい事なのです。

6. 木曜日：愛の誓い

イエス様と一緒に生きていくということは、神様の祝福を数え切れないくらいに受ける人生を送ることになりますが、苦勞もたくさんすることになります。その理由は、イエス様がこの地上で生きておられた時、たくさん苦勞をなさったからです。神様の道を歩くと必ずサタンが邪魔をしに来るから、苦勞をすることになります。しかし苦勞することはほんとうの意味で不幸なんでしょうか？ たしかに苦勞はしたくないものかもしれませんが、神様から離れて生きていくことが不幸です。神様から離れるということは、天国から離れるという意味になるからです。もしこの世で100(ひゃく)年くらい楽しく過ごせても、

死しんだ後あとで天国てんごくに入はいれなかつたら意味いみがありません。逆ぎやくに考かんがえると100ねん（ひやく）年くろうくらいの苦勞くろうはしたとしても、天国てんごくで過すごす永えい遠えんの時間じかんを幸しあわせに過すごしたほうが幸福こうふくだといえるのです。

7. 金曜日：さらなる研究

何かなに教会きょうかいのためにお手伝てつだいをしてみませんか。もちろん得意とくいなことにや苦手にがてなことはあると思おもいますが、最初さいしよは苦手にがてに感かんじたことも、慣なれてくると楽たのしくなってくるかもしれませんし、意外いがいな才能さいのうを発見はっけんするかもしれません。あるいは神様かみさまが才能さいのうを新あらたにプレゼントしてくださる事ことだってあります。あなたの無理むりのない範囲はんいで何かなにを始はじめてみませんか？ たとえば「神様かみさまのために、たくさんの友人ゆうじんをつくってみる」こととか...

★振り返りの質問★

神様かみさまはあなたに、何なにをするように言いっておられると思おもいますか？ 何なにをしたら神様かみさまが喜よろこばれると思おもいますか？ もし何かなにか思おもいついたなら、それのを祈いのって実じっごう行こうしてみましよう。